

愛を知るまでは / あいみよん

いざ 手のなる方へと
 導いたのは 誰でもない自分自身なのに
 自信がないよ 笑っちゃうな
 もたついている
 空気が抜けたままの身体

走れど走れど続く
 人生という名の死ぬまでのエピソードは
 軽いままの身体では
 吹き飛ばされて
 すぐに終わってしまうな

あー 誰にもないものを持っていたいのになあ
 無理矢理に抱きしめてた
 心を今解いて

優しい心を持ちたいのだけれど
 時にはがむしゃらに怒って
 涙は真に受け止める
 愛を知るまでは死ねない私なのだ!
 導かれた運命辿って
 今日明日も生きて行こう

目の前に見えた星は
 幾千年の輝きを失いそう
 夢で終わる夢ならば
 見なくていいと 自分に言い聞かせた

あー まだ咲ききれない
 花のような毎日だなあ
 無茶苦茶に走り続けた
 身体を今休めて

交わることのない誰かと巡り合い
 無限に広がる雲に乗って
 見たことのない虹を見たい
 愛を知るまでは死ねない私なのだ!
 導かれる運命頼って
 今日明日も生きて行こう

あー 誰にもないものを持っていたいのになあ

ラストの進路指導通信

夢を叶えるまでは
 死ねない私なのだ!

最近テレビを見ていると、大泉洋とあいみよんが対談していて、その中で『愛を知るまでは』の原型を作ったのは、2017年ごろで、「アーティストとして活動するものの自分の思い描くところまで辿り着けず、メジャーになりたいともがいている」ときに生まれた曲だと本人が話していた。「周りに認められたい」という思い…。

『愛を知るまでは』の「愛」とは、「周りから評価される」ことを表しているのかもしれない。芸人であれば芸人として、音楽家であれば音楽家として評価されたい。「愛を知るまでは死ねない私なのだ!」は、「周りから自分を評価されるまでは死ねない」と、夢を叶えようとするあいみよんの強い意思を曲にしたのかもね。

無理矢理に抱きしめてた
 心を今解いて

優しい心を持ちたいのだけれど
 時にはがむしゃらに怒って
 涙は真に受け止める
 愛を知るまでは死ねない私なのだ!
 導かれた運命辿って
 今日明日も生きて行こう

明日!最後の授業「卒業式」
それは「自分への問い」と「未来への決心」!!

—進路通信最終号によせて—

◆生を受けて15年、義務教育9年、君たちは、様々な良識や知恵や技能を親や教師や大人たちから学んだ。肉体も精神(心)も成長した。 ◆今までの授業は、ある意味で(一方的な見方をすれば)教師からの知識・技能の伝達であり、どちらかと言えば知識・技能の丸暗記だった。

◆でも、最後の授業「卒業式」は違う!教師は「君の心」であり、生徒も「君の心」なんだ。君自身の心が『自問・自答』し、また『自答・自問』する。 ◆その自問自答する卒業式は、単に君たちを祝うだけのものじゃない。君たちの成長を15年間支えてくれた人たちに君たちが「感謝する時間と空間」でもある…。

◆保護者にしてもらった事、保護者と共に笑った事、保護者に叱られた事、病気したときの事。さらに仲間と共に喜び、驚き、怒り、泣いた事。 ◆また、ウソを保護者や教師や仲間や自分自身についた事。反社会的な行動をした事。大人や社会に突っ張った事。仲間と喧嘩をして自分の汚さが見えた事。何かに心を動かされて、涙したり微笑んだりした事。

どんな自分<青年・大人・人間>になろうかと…フット鏡に映った自分の顔…

君がどんな進路選択をしたかではなく、
 「選んだ進路で今後どう生きるか?」ということです。

どんな進路決定をしたのかは関係ない。
 問題なのは、次の3年間で何をしようとしているのか?
 どんな未来を切り拓こうとしているのか?なんだよね。
 常に信頼と自己向上と優しさを!学ぶ決心を…

最後の授業に結論やまとめはない。テストのように〇も×もない。
 あるのは『自分への問い』と『未来への決心』!!
 信・伸・心 ing、夢と勇気とやさしさと

「一同起立」卒業生 礼
 「卒業証書を授与される者 ○○○○」 「ハイ」…
 この姿の中に君の決心を…